

【資料1】

令和5年度 宮城県地域年金展開事業 実施結果



仙台東年金事務所(宮城県代表年金事務所)

目次

1	地域年金展開事業の概要	P 2
2	地域連携事業	P 4
3	年金セミナー事業	P 9
4	地域相談事業	P14
5	年金委員活動支援事業	P15
6	「ねんきん月間」「年金の日」の取り組み	P19
7	宮城県地域年金事業運営調整会議	P19
8	各年金事務所の取り組み	P20

1. 地域年金展開事業の概要 (2/2)

地域年金展開事業の主な取り組み

- ◆公的年金制度の普及・啓発や国民年金保険料収納の向上等のため、関係機関との連携協力のもと『年金制度説明会』や『年金セミナー』、『出張年金相談』等を実施します。
- ◆また、日本年金機構が取り組む公的年金制度の普及・啓発活動について、都道府県ごとに関係者や有識者からなる『地域年金事業運営調整会議』を開催し、事業推進の意見や助言をうかがいます。

《本来の取り組み内容》

地域連携事業

- ・職員が自治体や民間企業、関係団体等に出向き、事務担当者や従業員向けの年金制度説明会を実施。
- ・市区役所・町村役場の広報誌や行事等を通じ年金制度や日本年金機構が行う事業の周知、ポスター・チラシの掲示や設置、配付の依頼等。

年金セミナー事業

- ・職員が、大学や専門学校、高校等に出向き、学生・生徒向けの年金セミナーを実施。
- ・大学での年金相談や学生納付特例制度の申請窓口の開設や、パンフレットの掲示や設置、配付の依頼等。

地域相談事業

- ・年金事務所から遠方の地域住民や利便性などのニーズに応えるため、市区役所・町村役場や大規模商業施設、イベント会場等で、出張年金相談や免除申請窓口を開設。

年金委員 活動支援事業

- ・年金委員を対象とした研修会の開催や、各種冊子・チラシ等、活動に役立つ情報を提供。

地域年金事業 運営調整会議

- ・公的年金制度の普及・啓発等についての検討や年金事務所が行う事業への意見・助言を行うため、学識経験者や関係機関等を委員として都道府県単位に設置。

2 地域連携事業

(1) 事業の取り組み状況

① 自治体との連携

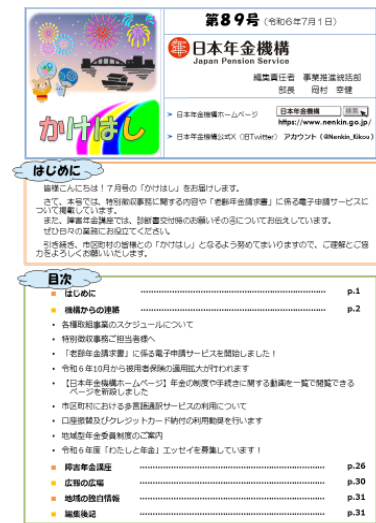
県内の市区町村職員を対象に各年金事務所において事務研修会を開催するとともに、情報誌「かけはし」を隔月で発行し、制度周知および情報共有を行いました。

また、対面による市区町村の新任担当者向けの国民年金事務や障害年金制度にかかる研修会を実施する等により、より一層の連携強化に努めました。令和5年度においては、令和4年度を上回る24回の事務研修会を開催しました。

○事務研修会開催状況

	令和5年度 実施回数	令和5年度 出席人数	令和4年度 実施回数	令和4年度 出席人数
仙台東	4回	25名	2回	15名
仙台北	4回	13名	5回	25名
仙台南	4回	115名	3回	18名
石巻	4回	23名	2回	18名
古川	4回	45名	3回	52名
大河原	4回	25名	3回	18名
計	24回	246名	18回	146名

○市町村向け情報誌「かけはし」



② 関係団体等と連携した研修会・説明会等の実施

より多くの方に効果的に様々な情報提供を行えるという利点があり、各関係団体との講師派遣等にかかる連携・協力による研修会・説明会等を積極的に行っております。

関係団体等のご協力により、令和4年度以上の研修会・説明会を実施することができました。

○関係団体等研修会等開催状況

	令和5年度 実施回数	令和4年度 実施回数	開催年金事務所	内容
全国健康保険協会宮城支部	15回	7回	仙台東・古川・石巻・ 大河原	算定事務講習会 職域型年金委員研修会 健康保険委員研修会 新任事務担当者向け説明会 新規適用事業所向け説明会
宮城県社会保険協会	10回	7回	仙台東・仙台北・古川・ 石巻・大河原	年金シニアライフセミナー 新任事務担当者向け説明会 ※このほか、宮城県社会保険協会発行の広 報誌「社会保険みやぎ」への記事掲載依頼
宮城県年金協会	2回	3回	仙台北・大河原	年金給付制度説明会
ハローワーク	4回	4回	仙台東・石巻	年金給付制度説明会 育児休業にかかる保険料免除に関する 説明会(※マザーズハローワーク)
計	31回	21回		

※マザーズハローワーク

子育て中や子育てと仕事の両立を目指す求職者支援を主に行う事業

③ 「第5回宮城県年金ポスターコンクール」

県内中学生を対象として、県内では5回目となる宮城県年金ポスターコンクールを開催しました。応募状況については、県内22中学校から45作品の応募があり、その中から厳正なる審査のうえ、各賞が決まりました。

一人一人が主体的に年金制度を支えることで、「年金による未来の豊かさ」を表現する作品や、大切な人を守りたいという優しさにあふれた作品、子供たちがお年寄りをしっかり支えている作品等、心温まる作品を多数応募いただきました。

また応募いただいた作品について、昨年度までの青葉通り地下道、石巻駅、古川駅、大河原駅、イオンモール新利府南館での展示に加え、矢本駅や東北電力グリーンプラザアクアホールにおいても作品の展示を行い、より多くの方にご覧いただくことができました。



東松島市立矢本第一中学校

星 ひなの さん

『審査アドバイザーからのコメント』

「年金楽しみだな」のキャッチコピーは、ストレートに楽しさが伝わります。それを表現するために文字の大きさ、色、イラストの配置を工夫しています。描かれているみんなの笑顔がふくよかに描かれています。年金による未来の豊かさを表現したとても優れたポスターです。

作品の展示会

青葉通り地下道



東北電力グリーンプラザアクアホール



イオンモール新利府南館



厚生労働省東北厚生局長賞



仙台市立長町中学校
高橋 陸斗 さん

『審査アドバイザーからのコメント』
若者から、お年寄りに花が手渡される瞬間を水彩絵の具で表現した作品です。張りのある若い皮膚と、シワがありごつごつした質感を上手く描き分けています。年金が花に象徴され、明るい「笑顔をうみだす」気持ち伝わる優れたポスターです。

宮城県社会保険協会長賞



富谷市立東向陽台中学校
植松 風羽 さん

『審査アドバイザーからのコメント』
くっきりと描かれた七色の虹と黒いゴシック体の文字の対比が見事です。文字のレタリングも素晴らしいです。はばたく鳥と手の開き加減で「年金は未来へのかけはし」の表現ができています。全てにおいてうまくまとまった優れたポスターです。

優秀賞(3点)



塩竈市立第二中学校
岩上 愛実 さん



石巻市立石巻中学校
岸本 瑛美 さん



仙台市立広瀬中学校
小館 美佑 さん

(2) 取り組み状況の総括と今後の対策

総 括	今後の対応
<p>研修会・説明会等については、自治体や関係団体等のご協力により、実施回数を増やしたことで、令和4年度より多くの方に受講いただくことができました。</p>	<p>令和6年度も、より多くの方々へ制度や事務手続き等にかかる効果的な情報提供を効率的に行えるよう、自治体や関係団体等との協力や連携をさらに強化しながら、研修会・説明会等の地域連携事業を進めます。開催にあたっては、状況やニーズに応じてオンラインと対面を使い分けて開催します。</p>
<p>年金ポスターコンクールについては、応募いただいた作品を効果的に制度周知に活用するため、ポスターの展示会場や展示日数を拡大することで、より多くの方にご覧いただくことができました。</p>	<p>若年層を中心に年金制度へ関心を持っていただくための重要な取り組みとして、令和6年度も積極的に周知していきます。応募いただいた中学生の方々への感謝の意を伝えるためにも、表彰や展示方法も検討を重ね、より多くの方に応募いただけるよう努力します。</p>

3 年金セミナー事業

(1) 事業の取り組み状況

① 年金セミナーの実施状況

次世代の主役となる若年層に年金制度の仕組みや必要性について理解を深めていただくため、年金セミナー事業を推進しています。宮城県全体の実施校および実施回数は令和4年度を上回ることができませんでしたが、仙台国税局や税務署の協力も得て、新たに中学校での年金セミナーを開催しております。

また、セミナーの質の向上のため日本年金機構内での研修の開催や模擬セミナー等によるセミナー講師の養成に力を入れ、年金セミナー実施に当たっては、開催時の対面による質問や意見交換の時間を拡大し、多くの意見等をいただきながら、より効果的な若年層への制度周知が行えるよう検討を重ねています。

○年金セミナー実施状況(年金事務所別)

○年金セミナー実施状況(教育機関別)

	令和5年度 実施校数	令和5年度 実施回数	令和4年度 実施校数	令和4年度 実施回数
仙台東	22校	27回	21校	27回
仙台北	10校	10回	16校	16回
仙台南	5校	6回	6校	12回
石巻	5校	9回	6校	12回
古川	6校	9回	5校	8回
大河原	4校	4回	9校	11回
計	52校	65回	63校	86回

	令和5年度 実施校数	令和5年度 実施人数	令和4年度 実施校数	令和4年度 実施人数
大学、短大	10校	1,083名	14校	1,862名
各種学校	12校	739名	15校	1,119名
高校	26校 (定時制高校1校)	1,747名	29校 (定時制高校2校)	2,835名
中学校	2校	30名	0校	0名
計	50校	3,599名	58校	5,816名

※実施校数については1校を複数の年金事務所で行う場合もあり、右記教育機関別実施状況表の校数と相違しています。

② 関係団体との協力連携

宮城県社会保険労務士会や仙台国税局および全国健康保険協会宮城支部と協力して年金セミナーの共同開催を行っており、令和5年度は新たに健康保険組合とも共同開催しました。

○関係団体との共同開催状況

	令和5年度 実施回数	令和5年度 対象人数	令和4年度 実施回数	令和4年度 対象人数
宮城県社会 保険労務士会	3回	86名	4回	300名
仙台国税局	4回	199名	4回	422名
全国健康保険協会 宮城支部	1回	50名	6回	428名
健康保険組合	4回	225名	0回	0名
計	12回	560名	14回	1,150名



年金セミナーの様子

※写真の掲載については、ご本人の了承をいただいています。

③ 年金セミナー用動画の活用

日本年金機構では、令和2年度以降、年金セミナー用動画を作成し活用しています。

内容は制度をより分かりやすくお伝えできるよう、かつ興味を持っていただけるよう、アニメーションを取り入れる等して、工夫された動画となっています。

日本年金機構ホームページや厚生労働省YouTubeでも視聴可能となっています。

④ 地域年金推進員の活動

地域年金推進員は宮城県内に2名配置されており、県内全域を対象として教育機関への年金セミナー、制度説明会のアプローチやセミナーの講師を行っています。電話や訪問のほか、動画提供によりアプローチをしておりますが、次年度以降にも受講いただけるよう、充実した内容となることを意識しながら取り組んでおります。

※ 地域年金推進員とは？

☞ 次代を担う若い世代(学生)に対して、公的年金制度の仕組みや基本理念について正しい理解の普及を推進するため、教職員OB、現役の教職員、学校との関係や学生へ伝える能力があると拠点長が判断する方を委嘱しています。地域年金推進員は、学校への年金セミナー実施の依頼や打ち合わせ等の活動をしています。

日本年金機構ホームページ内の年金セミナー用動画の紹介ページ

1. 動画

公的年金はみんなの強い味方



公的年金制度についてわかりやすく説明した全3話のアニメーション動画です。皆さんも、主人公のショウ君と一緒に楽しく公的年金制度を学んでみませんか。

[公的年金はみんなの強い味方](#)

国民年金ってホントに必要なの！講座



公的年金制度を「桃太郎」に例えながら、国民年金の仕組みや役割、大切さをわかりやすくアニメーション動画にしています。学生の方から大人の方まで、幅広い方に役立つ内容です。

[国民年金ってホントに必要なの！講座](#)

☞ [国民年金ってホントに必要なの！講座 \(厚生労働省ホームページ\) \(外部リンク\)](#)

知っておきたい年金のはなし

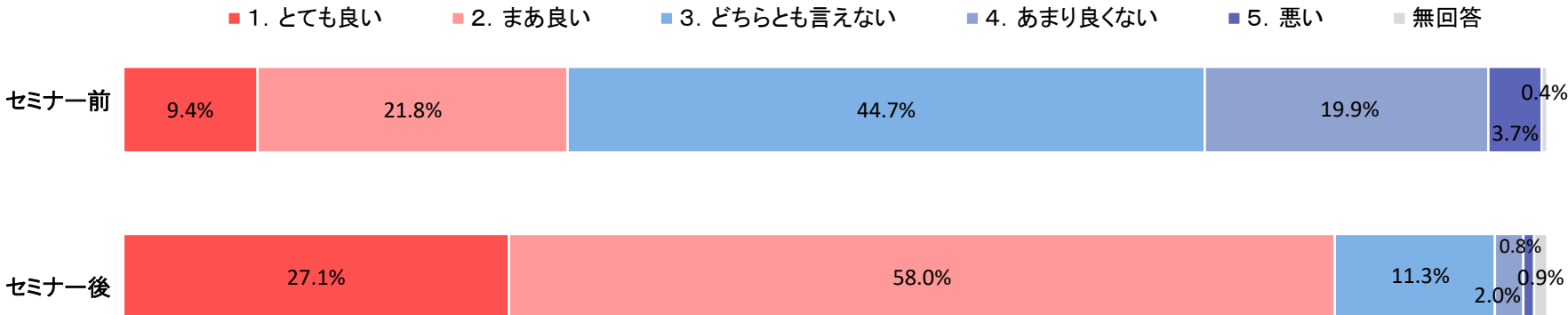


日本の公的年金制度は、老後の暮らしをはじめ、事故などで障害を負ったときや、一家の働き手がなくなったときに、みんなで暮らしを支え合うという社会保険の考え方で作られた仕組みです。そんな公的年金制度について、皆さまに知っていただきたい内容を動画にしています。

[知っておきたい年金のはなし](#)

年金セミナーアンケート結果(宮城県) ～「年金」に対するイメージ～

対象(アンケートを実施したすべての大学・短大・各種学校・高等学校) 令和5年度分



<ご感想の例>

- 年金は、老後の生活を支えるものだけでなく、世代と世代が支え合う生活のために保険料を納付しておくことが大切だと思う。(大学生)
- 今まで知らなかった50%は税金といった話や老後だけでなく病気などでも使うことができると知り有意義なセミナーだと感じた。また、支える世代の減少による影響といったところはどうか気になった。(専門学生)
- 今まで生きて中でこんなに詳しく年金について教えてもらったことがなかったので、いい機会になった。(高校生)
- 学生納付特例の制度を早い段階で知ることができるのでとても為になるセミナーだと思う。もっと若い世代にもこの知識を広められればより年金に対するイメージを上げられると思うので中高の教育にも導入とかできれば良いなと個人的に思う。(高校生)
- 年金はまだ私たちに関係が無いと思っていたのですが、今回のセミナーで、学生の私たちにも関係があって、大切なことなんだと思いました。今後もしも何かあった時でもお金を受けとれるように考えて、正しい知識で年金について学んでいこうと思いました。(中学生)
- 国に払う分の金を自分で貯めといた方がいい。払った分返ってくるわけがない。(高校生)

(2) 取り組み状況の総括と今後の対策

総 括	今後の対応
<p>令和5年度の年金セミナー実施回数および参加人数は令和4年度を上回ることはできませんでしたが、セミナー講師の養成や対面による質問や意見交換を重視した結果、年金セミナー実施後のアンケート結果において、令和4年度実施分以上に、年金に対するイメージの向上を確認することができました。</p>	<p>アンケート結果やいただいた意見・要望を参考に、今後の年金セミナーのより効果的な広報や学生に興味を持っていただけるような実施方法を検討し、より多くの若い世代への制度周知に繋げていくため、関係機関とも協力しながらセミナー実施の勧奨を行っていきます。</p>
<p>関係団体との共同開催による年金セミナーにおいては、対象とする教育機関を拡大する機会を得られるほか、教育機関から効率的に幅広い知識を得られるとの意見もいただいております。</p>	<p>令和6年度以降も、共同開催の利点を活かし、より多くの方を対象に幅広い内容の制度周知が行えるよう、関係団体との連携を強化していきます。</p>

4 地域相談事業

(1) 事業の取り組み状況

① 自治体等における出張年金相談の実施

例年、年金事務所に来所するには時間のかかるお客様の利便性を考慮し、年金事務所職員が遠隔地にある自治体等において出張年金相談を実施しています。令和5年度においては、常設の出張相談所のある気仙沼市での出張年金相談を244回実施しています。

○出張相談実施状況

年金事務所	実施場所	令和5年度実施回数	令和5年度対象人数	令和4年度実施回数	令和4年度対象人数
石巻	気仙沼市	244回	3,605名	243回	3,680名

② 社会保険労務士会開催の無料相談会への協力等

仙台駅前のアエルにおいて、社会保険労務士会が開催した無料相談会に仙台東年金事務所職員も参加し、年金受給にかかる相談対応を行いました。

(2) 取り組み状況の総括と今後の対策

総括	今後の対応
社会保険労務士会の無料相談会への出張相談を実施する等、関係団体との協力による相談対応を行うことができました。	自治体等における出張年金相談は、地域住民の利便性とニーズを確認しつつ、自治体や関係団体との連携を図りながら令和6年度の実施を検討していきます。

5 年金委員活動支援事業

(1) 事業の取り組み状況

① 年金委員への研修会等

【職域型年金委員】

職域型年金委員は主に社会保険にご加入いただいている法人の事務担当者の方に委嘱いただいております。研修についてはWeb会議サービスによる受講の要望が多いため、社会保険事務手続きや制度改正等にかかるオンラインでの研修を実施しました。

【地域型年金委員】

令和3年度下期に各都道府県に地域型年金委員連絡会を設置し、令和5年度においては計2回の宮城県地域型連絡会を開催しました。

宮城県内の各年金事務所にお集まりいただいた地域型年金委員とテレビ会議システムにより中継し、年金事務所との情報共有、活動依頼、支援事項の伝達および地域型年金委員相互間の情報共有を行いました。また、研修会により、年金受給や国民年金に関する制度改正の留意点等の説明を行いました。

② 年金委員への情報提供

日本年金機構本部から職域型および地域型年金委員に対して、制度の活用と周知・広報を目的として「年金委員活動の手引き」をはじめ、年金制度全般にかかる資料や年金委員向け広報誌等による情報提供を行いました。

また、日本年金機構ホームページ内「年金委員通信」による年金委員制度や取り組みの紹介および年金委員向けの研修資料やリーフレット等の提供による年金委員の皆さまへの情報提供を行いました。

○職域型・地域型年金委員とは

	職域型	地域型
年金委員の役割	厚生労働大臣から委嘱を受けて、政府が管掌する厚生年金保険や国民年金の事業について、会社や地域で啓発・相談・助言等の活動を行う	
委嘱数 (R6.3月末)	13万447人 (宮城県内3,173人)	8,697人 (宮城県内202人)
活動区域	主に自社内	主に自治会等の地域
活動対象	自社の従業員、そのご家族等	自治体、地域住民等
活動内容	社員への年金制度の概要説明、社内での制度や手続きの周知	地域(町内会等)での制度や手続きの周知、年金相談等
	「ねんきんネット(およびマイナポータルとの連携による各種電子申請等)」リーフレットの職場や地域内での設置や配付等	

○年金委員向け研修(令和5年度)

	回数	参加人数
職域型年金委員	13回	432人
地域型年金委員	16回	153人

③ 年金委員表彰式の実施

多年にわたり年金事業の推進および発展に貢献された年金委員の方々に、年金委員功労者表彰伝達式を開催しました。

開催にあたっては全国健康保険協会宮城支部、宮城県社会保険協会および宮城県社会保険委員会連合会との共催により実施しました。

開催日 令和5年11月22日

開催場所 仙台サンプラザ

表彰対象	厚生労働大臣表彰	3名
	日本年金機構理事長表彰	7名
	全国健康保険協会理事長表彰	3名
	日本年金機構理事表彰	19名
	全国健康保険協会宮城支部長表彰	15名
	一般財団法人宮城県社会保険協会会長表彰	2名
	仙台東年金事務所長感謝状	4名
	仙台北年金事務所長感謝状	5名
	仙台南年金事務所長感謝状	5名
	石巻年金事務所長感謝状	6名
	古川年金事務所長感謝状	3名
	大河原年金事務所長感謝状	3名

表彰伝達式の様子



※写真の掲載については、ご本人の了承をいただいています。

④ 年金委員の委嘱拡大に向けた取り組み

令和5年度においても年金委員の委嘱拡大に取り組みました。

職域型年金委員については、「短時間労働者にかかる社会保険の適用拡大」の対象となる、被保険者を51人以上有する事業所に対し、制度改正や届出にかかる情報提供等を効果的に行うことを目的とし、新規の委嘱勧奨に注力しました。退職等の入れ替わりもあり、年度末現在の総数では令和4年度を上回ることができませんでしたが、前述の取り組みにより新規委嘱数は令和4年度を上回っております。(令和5年度新規委嘱数205名 令和4年度新規委嘱数170名)

また、地域型年金委員については、特に若年層への制度周知を効果的に行うことを目的とし、教育機関や市区町村職員の方への新規委嘱の勧奨に注力し、新規委嘱数を拡大しました。新たに年金委員の委嘱を受けていただいた方々のアドバイス等を参考に、若年層への制度周知に取り組んでいくこととしております。(令和5年度新規委嘱数37名 令和4年度新規委嘱数23名)

○年金委員委嘱者数

	職域型年金委員数		地域型年金委員数	
	令和5年度末現在	令和4年度末現在	令和5年度末現在	令和4年度末現在
仙台東	529名	537名	44名	38名
仙台北	645名	634名	37名	33名
仙台南	487名	486名	31名	30名
石 巻	570名	568名	29名	30名
古 川	631名	621名	45名	47名
大河原	311名	329名	16名	15名
計	3, 173名	3, 175名	202名	193名

(2) 取り組み状況の総括と今後の対策

総 括	今後の対策
<p>年金委員向けの研修会においては、年金委員活動を支援するため、アンケートによる意見・要望を参考にテーマや開催方法を検討する等、より効果的な情報提供ができるよう工夫しながら開催しました。年金委員の皆様には、お客様の利便性向上のため利用拡大に注力している「ねんきんネット」(個人向けオンラインサービス)の利用勧奨にもご協力いただきました。</p>	<p>日本年金機構ホームページ等での情報提供と年金事務所における研修会や連絡会等によるきめ細かな支援、および年金委員制度の周知にも注力し、公的年金制度の普及にご協力いただいている年金委員の皆さまに、より効果的な活動支援が行えるよう検討を重ねながら取り組んでまいります。</p>
<p>年金委員の委嘱拡大においては、職域型・地域型共に新規委嘱者数において、令和4年度を上回ることができました。職域型においては、制度改正の対象事業所、地域型においては若年層への制度周知と目的に応じ対象を絞った勧奨を行いました。</p>	<p>日本年金機構における地域年金展開事業は「制度を知らないことによる不利益を生じさせない情報提供を効果的に行う」こととしております。引き続き、より幅広く多くの方に効果的な情報提供を行えるよう、年金委員の委嘱拡大に取り組んでまいります。</p>

6 「ねんきん月間」「年金の日」の取り組み

毎年11月を「ねんきん月間」として、公的年金制度の普及・啓発活動を展開しています。

特に11月30日(いいみらい)を「年金の日」として、国民の皆さまに公的年金制度を身近に感じていただき、公的年金制度に対する理解を深めていただくことを目的とした取り組みを実施しています。

○「ねんきん月間」における取り組み内容

第5回宮城県ポスターコンクールの授賞式・作品展の開催をはじめ、年金委員表式、年金セミナー・制度説明会、全国年金委員研修の実施等、積極的な公的年金制度の普及・啓発活動を行いました。

宮城県内の年金事務所共同での取り組みとして、令和5年11月7日～11日の5日間、東北電力グリーンプラザ(アクアホール)において、宮城県内6年金事務所共同で、年金ポスターコンクール展示会を開催しました。

100名以上の来訪者に作品をご覧いただいたほか、最終日の11月11日(土)は、年金相談会も開催し、ご相談いただいたお客様に年金受給等にかかる情報提供を行いました。



「年金の日」のポスター

7 宮城県地域年金事業運営調整会議

地域住民の公的年金制度に対する理解をより深め、制度の加入や保険料納付の向上に繋がるよう、地域における支援のネットワーク等を構築し、地域に根ざした年金事業の推進を積極的に図ることを目的として、地域年金事業運営調整会議を開催しているところです。会議でいただいたご意見については、必要に応じて本部関係部署への情報共有を行うとともに、宮城県内の地域年金展開事業の運営の参考にさせていただいています。

8 各年金事務所の取り組み

仙台東年金事務所

○年金ポスターコンクール展示会および年金相談会の開催

令和5年11月7日～11日の5日間、東北電力グリーンプラザ(アクアホール)において、宮城県内6年金事務所共同で、年金ポスターコンクール展示会を開催しました。

100名以上の来訪者に作品をご覧いただいたほか、最終日の11月11日(土)は、年金相談会も開催し、ご相談いただいたお客様に年金受給等にかかる情報提供を行いました。

展示会の様子



○仙台国税局との広報・制度周知にかかる連携協力の強化

令和6年3月、仙台国税局と仙台東地域代表年金事務所において、「連携・協力にかかる覚書」締結式を開催しました。

東北管内の税務署および年金事務所間において、双方における制度周知にかかる広報、および教育機関での租税教室と年金セミナーの共同開催の拡充等、税や社会保険制度等、社会との接点に関わる教育の充実やお客様の利便性向上、並びに双方の制度普及と基幹事業の円滑な運営のため連携・協力していきます。

連携協力覚書締結式の様子



※写真の掲載については、ご本人の了承をいただいています。

仙台北年金事務所

○年金セミナー事業

令和5年度は、5月からスタートし、上期は5校、下期は5校の合計10回の年金セミナー実施となりました。すべて対面での実施となり、のべ621名の受講となりました。

セミナー実施後のアンケートでは、「年金制度についてたくさん学ぶことができた。」「今後の生活に欠かせない内容を学ぶことができた。」「年金は支えあっていくものということが分ったのでしっかり支払いたい。」等の意見を多く頂きました。

今後も、受講者の方に、より年金制度の理解を深めてもらえるよう引き続き、積極的に分かりやすい年金制度の周知に努めてまいります。

年金セミナーの様子



※写真の掲載については、ご本人の了承をいただいています。

○地域連携事業

令和5年度は計5回の年金制度説明会や研修会を行いました。

前年度に引き続き、区役所との連携により外国人留学生が在籍する学校法人担当者向けの年金制度説明会への講師派遣や関係団体にて年金給付制度全般および遺族年金についての制度説明会への講師派遣を行いました。

今後も関係団体との連携を深め、公的年金制度の周知・啓発に努めます。

仙台南年金事務所

○地域連携事業

地域のニーズにお応えするため、研修会・講習等への講師派遣を行っていますが、令和5年度の取り組みとしましては、障害者支援施設(宮城県立聴覚支援学校およびハンズ太白)において父兄向けの障害年金制度説明会および意見交換の実施をしました。また、関係機関からの要望により講師を派遣して法定免除や障害年金に関する研修会を実施しました。

今後も地域の皆さまが関心を寄せているテーマについて研修等を通じて公的年金制度の周知、理解を深めていただける取り組みを実施してまいります。

○年金セミナー事業

令和5年度は高校4校、大学1校で合計6回のセミナーを実施しました。実施後のアンケートでは、年金制度の内容や大切さを理解したとの感想を頂いており、セミナーを実施した学校での年金制度に対するイメージは良くなっていると感じられます。

すべての学校においてセミナーを実施することは難しい状況にありますが、将来の年金制度に対する知識に差が生じないようできるだけ多くの学校にアプローチを進めていきたいと思っております。

今後も若年世代の方々への分かりやすい年金制度の周知に努めてまいります。

年金セミナーの様子



※写真の掲載については、ご本人の了承をいただいております。

石巻年金事務所

○年金セミナー事業

令和5年度は5校、合計9回の年金セミナーを実施しました。新型コロナウイルス感染症が5類に変更となったものの年金セミナーの開催を見合わせた学校もありましたが、全て対面で開催することができました。令和4年度に比べて学校数で1校、回数で3回の減となりましたが、いずれの年金セミナーにおいても、実施後のアンケートでは「漠然とした年金に対するイメージがセミナーによって知識として理解することができた。」「年金制度に対する考え方が変わった。」との回答が大幅に増加しており、年金セミナーによる年金制度周知の重要性を感じております。

今後も年金制度に対するご理解を深めていただけるよう取り組みを推進していきます。



年金セミナーの様子

※写真の掲載については、ご本人の了承をいただいています。

○地域相談事業

令和5年度の自治体等における出張年金相談として気仙沼年金相談分室において244回実施し、相談件数は、3,605件(一日あたり平均14.8件)となっております。

令和3年1月以降、事前予約による相談が周知されたことから相談者数が減少しましたが、岩手県内からの利用者も増加傾向にあります。

今後も気仙沼年金相談分室と連携を取りながら、お客様に寄り添った対応を取り組んでいきたいと考えております。

古川年金事務所

○年金セミナー事業

昨年度は、新型コロナウイルスの扱いが5類になりましたが、感染拡大防止を意識しつつ、学校側の希望に合わせて、対面開催を5校で8回行いました。

令和6年度は、オンラインでの動画提供を含め、積極的に年金セミナー開催を目指したいと思います。



年金セミナーの様子

※写真の掲載については、ご本人の了承をいただいています。

○年金委員活動支援事業

昨年度、年金委員の皆さまに対しての連絡会・研修会は、できるだけ出席いただけるよう意識しながら、地域型年金委員連絡会は4回実施、職域型年金委員研修は3回実施しました。今後、地域型年金委員の皆さまと年金事務所との「協力・連携による年金制度周知」について共有したところ、年金相談会や地域コミュニティへの講師派遣依頼を受け実施することができました。

また、迅速な書類届出、ペーパーレス化および利便性を高めるための「電子申請」、「ねんきんネット」の利用促進を図るため、職域型年金委員設置事業所へ訪問による勧奨や周知チラシの設置依頼を行いました。

当所において年金委員の委嘱者数は着実に増えてきており、今後も年金制度をより多くの方にご理解いただくためにも、引き続き年金委員の委嘱拡大に取り組んでまいります。

さらに、「電子申請」「ペーパーレス化」は将来に向けて、急務の課題であると取り組んでいます。

大河原年金事務所

○年金委員活動支援事業

地域型年金委員連絡会及び研修会は、2回開催しました。地域におけるポスター・リーフレットの配布等、広報活動を中心に議論しました。また、年金出前講座として地域行事へ講師派遣を行いました。

職域型年金委員向けの研修会につきましては、オンライン方式2回、対面方式で2回開催しました。

令和5年度の年金委員の委嘱拡大により、年金委員が増加したこともあり、令和6年度は年金委員への活動支援の充実を図ってまいります。

○年金セミナー事業

高等学校を中心に4校での開催となりました。

内1件については、管内の中学2年生の職場体験学習としてオリエンテーリングを実施し、その中で年金セミナーを行いました。

今後も、講師のスキルの向上を図り、引き続き分かりやすい年金制度の周知に努めてまいります。



年金セミナーの様子

※写真の掲載については、ご本人の了承をいただいています。